

2023年12月期 第3四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
③ 設備投資の状況	P.1
④ 非資金項目	P.1
II 2023年12月期 第3四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 研究開発の状況	P.5
III 2023年12月期 業績予想	P.6
① 損益計算書	P.6
② 製商品別売上高	P.8

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

※ 本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

2023年10月31日



鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

2023年12月期 業績予想については、前回発表（2023年7月31日「2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準) (非連結)」)の予想数値を修正しております。

※ 研究開発費は、中長期的な成長に向けた積極的な事業投資により大きく変動するため、中期経営計画の利益面における指標は、研究開発費を控除する前の営業利益を計数指標としております。

① 経営成績

(単位:百万円)	2022年12月期	2023年12月期	増減	増減率 (%)	2022年12月期	2023年12月期	対予想 進捗率(%)
	第3四半期	第3四半期					
	A	B	B-A	(B-A)/A		C	B/C
売上高	35,315	39,132	3,817	10.8	48,896	54,000	72.5
営業利益	4,066	3,211	△855	△21.0	5,540	4,500	71.4
経常利益	3,918	3,315	△602	△15.4	5,537	4,700	70.5
四半期(当期)純利益	2,856	2,368	△487	△17.1	3,944	3,400	69.7
(参考)							
研究開発費	1,089	2,811	1,722	158.1	1,661	3,600	78.1
研究開発費控除前営業利益	※ 5,155	6,022	867	16.8	7,201	8,100	74.4
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS)	(円) 101.66	84.27	△17.39		140.39	120.99	
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)	(%) 2.4	2.0	△0.4		3.3		
総資産経常利益率	(%) 3.0	2.5	△0.5		4.2		
売上高営業利益率	(%) 11.5	8.2	△3.3		11.3		
総資産四半期(当期)純利益率(ROA)	(%) 2.2	1.8	△0.4		3.0		

② 財政状態

(単位:百万円)	2022年12月期	2023年12月期	増減	増減率 (%)
	第3四半期	第3四半期		
	A	B	B-A	(B-A)/A
総資産	133,689	132,181	△1,507	△1.1
純資産	119,224	118,595	△629	△0.5
自己資本比率	(%) 89.2	89.7	0.5	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 4,243.08	4,219.67	△23.41	

③ 設備投資等の状況

(単位:百万円)	2022年12月期	2023年12月期	増減額	増減率 (%)	2022年12月期	2023年12月期
	第3四半期	第3四半期				
	A	B	B-A	(B-A)/A		
設備投資額	612	147	△464	△75.9	662	250
有形固定資産	452	118	△333	△73.8	504	180
無形固定資産	159	28	△131	△82.1	158	70

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2022年12月期	2023年12月期	増減額	増減率 (%)	2022年12月期	2023年12月期
	第3四半期	第3四半期				
	A	B	B-A	(B-A)/A		
減価償却費	342	338	△3	△1.1	454	460
長期前払費用償却費	592	502	△89	△15.2	767	670

Ⅱ 2023年12月期 第3四半期実績

2023年12月期 業績予想については、前回発表（2023年7月31日「2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

※ 研究開発費は、中長期的な成長に向けた積極的な事業投資により大きく変動するため、中期経営計画の利益面における指標は、研究開発費を控除する前の営業利益を計数指標としております。

① 四半期損益計算書

(単位:百万円)	2022年12月期	2023年12月期	増減額	増減率 (%)	2023年12月期	対予想 進捗率(%)
	第3四半期	第3四半期			修正予想	
	A	B	B-A	(B-A)/A	C	B/C
売上高	35,315	39,132	3,817	10.8	54,000	72.5
製商品売上高	35,055	38,904	3,849	11.0	53,700	72.4
腎・透析領域	8,756	8,602	△154	△1.8	11,970	71.9
皮膚疾患領域	9,107	10,347	1,239	13.6	13,980	74.0
アレルギー領域	13,077	15,290	2,212	16.9	21,440	71.3
その他	4,113	4,665	552	13.4	6,310	73.9
その他の売上高	260	227	△32	△12.5	300	75.9
売上原価	18,394	21,098	2,703	14.7	29,300	72.0
製商品売上原価	18,355	21,057	2,702	14.7		
その他の原価	39	40	0	2.4		
売上総利益	16,920	18,034	1,114	6.6	24,700	73.0
販売費及び一般管理費	12,854	14,823	1,969	15.3	20,200	73.4
販管費（研究開発費除く）	11,765	12,012	246	2.1	16,600	72.4
研究開発費	1,089	2,811	1,722	158.1	3,600	78.1
営業利益	4,066	3,211	△855	△21.0	4,500	71.4
研究開発費控除前営業利益	※ 5,155	6,022	867	16.8	8,100	74.4
営業外損益	△147	104	252			
経常利益	3,918	3,315	△602	△15.4	4,700	70.5
特別損益	187	△2	△189			
税引前四半期純利益	4,105	3,312	△792	△19.3		
法人税等	1,249	944	△304			
四半期（当期）純利益	2,856	2,368	△487	△17.1	3,400	69.7

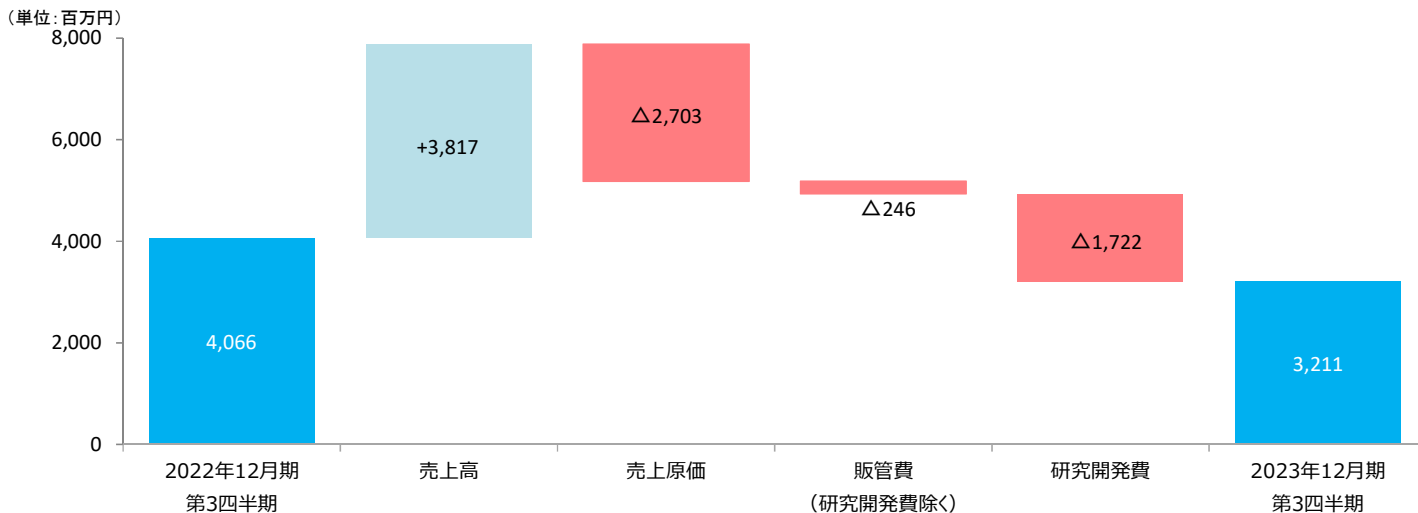
(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2022年12月期	2023年12月期	増減
	第3四半期	第3四半期	
	A	B	B-A
売上原価	52.1	53.9	1.8
販売費及び一般管理費	36.4	37.9	1.5
研究開発費	3.1	7.2	4.1
営業利益	11.5	8.2	△3.3
研究開発費控除前営業利益	※ 14.6	15.4	0.8
経常利益	11.1	8.5	△2.6
四半期純利益	8.1	6.1	△2.0

【対前年同期増減要因】

営業利益 (3,211百万円 対前年同期△855百万円)

✓ アレルゲン領域及びコレクチムの売上増加も、売上原価及び研究開発費増加により増収減益



主な増減要因 (億円未満切捨て)

売上高	腎・透析領域 : 減収△ 1億円	レミッチ△6億円 (後発品及び薬価改定の影響)、ケイキサレート△1億円 (薬価改定の影響) リオナ+3億円、エナロイ+2億円 (販売数量の増)
	皮膚疾患領域 : 増収+ 12億円	コレクチム+ 14億円、アンテベート+ 2億円 (販売数量の増)、ゼフナート△1億円 (販売数量の減)
	アレルゲン領域 : 増収+ 22億円	シダキュア+ 12億円、ミティキュア+ 10億円 (販売数量の増)
	その他 : 増収+ 5億円	ビオスリー+ 4億円、オラデオ+ 1億円 (販売数量の増)
売上原価	: 販売数量の増加 仕入単価の上昇 為替影響による増加	
販管費 (研究開発費除く)	: 売上連動経費の増加 営業活動経費の増加 従業員への特別一時金支給 (インフレ手当) コントラクトMRの減少	
研究開発費	: Nogra Pharma Limitedとのライセンス契約に伴う一時金等支払による増加 臨床試験費用 (TO-208) の増加	

経常利益 (3,315百万円 対前年同期△602百万円)

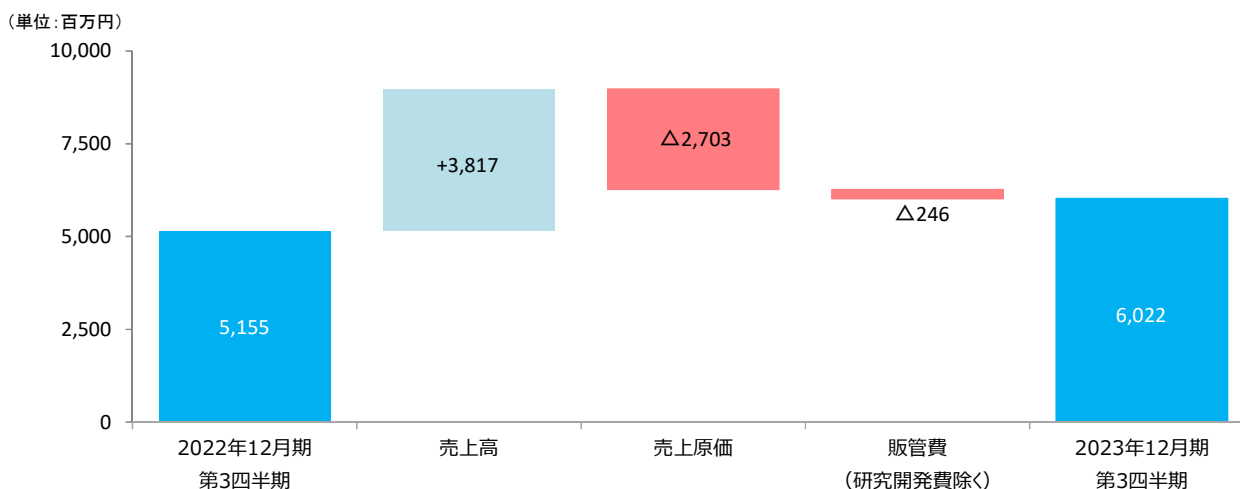
前期	営業外収益 : 有価証券及び投資有価証券の増加による有価証券利息の増加	+ 101百万円
	営業外費用 : 製造委託契約の解約違約金	140百万円

四半期純利益 (2,368百万円 対前年同期△487百万円)

前期	特別利益 : 政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益	187百万円
----	------------------------------	--------

【参考】

研究開発費控除前営業利益 (6,022百万円 対前年同期+867百万円)



② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2022年12月期	2023年12月期	増減額	増減率 (%)
	第3四半期	第3四半期		
	A	B	B-A	(B-A)/A
製商品売上高	35,055	38,904	3,849	11.0
[腎・透析領域]				
リオナ錠	5,037	5,403	366	7.3
高リン血症治療剤、鉄欠乏性貧血治療剤				
レミッチ	2,613	2,011	△602	△23.1
経口そう痒症改善剤				
ケイキサレート ※	914	780	△133	△14.6
高カルウム血症改善剤				
その他	191	406	215	112.7
計	8,756	8,602	△154	△1.8
[皮膚疾患領域]				
コレクチム軟膏	3,945	5,392	1,447	36.7
外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤				
アンテベート ※	2,959	3,201	242	8.2
外用副腎皮質ホルモン剤				
ロコイド ※	1,103	1,065	△38	△3.5
外用副腎皮質ホルモン剤				
ゼフナート	863	687	△175	△20.3
抗真菌薬				
その他	236	△0	△237	-
計	9,107	10,347	1,239	13.6
[アレルギー領域]				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※	6,757	7,963	1,205	17.8
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※	6,171	7,189	1,017	16.5
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬				
その他	147	137	△10	△6.9
計	13,077	15,290	2,212	16.9
[その他]				
ビオスリー	2,423	2,881	457	18.9
活性生菌製剤(整腸剤)				
オラデオカプセル	959	1,107	147	15.4
血漿カリクレイン阻害剤				
その他	730	677	△53	△7.3
計	4,113	4,665	552	13.4

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2022年12月期	2023年12月期	増減	増減率 (%)
	第3四半期	第3四半期		
	A	B	B-A	(B-A)/A
自社品売上高	18,598	20,845	2,246	12.1
自社品比率 (%)	53.1	53.6	0.5	-

③ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
皮膚疾患領域								
JTE-061	アトピー性皮膚炎	外用剤					申請	<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)がDermavant Sciences GmbHと日本国内における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)が2023年9月に製造販売承認申請
	尋常性乾癬	外用剤					申請	<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)がDermavant Sciences GmbHと日本国内における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)が2023年9月に製造販売承認申請
	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)がDermavant Sciences GmbHと日本国内における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
TO-208	伝染性軟属腫	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・Verrica Pharmaceuticals Inc.と日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・Verrica Pharmaceuticals Inc. 開発番号:VP-102
アレルギー領域								
TO-203 「ミティキュア® ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II / III 終了※			<ul style="list-style-type: none"> ・ALK-Abelló A/Sと日本国内における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中

前回公表時（2023年7月31日）からの変更点

- ・2023年8月 日本たばこ産業(株)によるJTE-061（小児アトピー性皮膚炎）の日本国内における第Ⅲ相臨床試験の開始（前回公表時：開発段階「Phase II」）
- ・2023年9月 日本たばこ産業(株)によるJTE-061（アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬）の国内製造販売承認申請（前回公表時：開発段階「Phase III」）

上記のほか、以下の契約を締結しております。

- ・2023年1月 Nogra Pharma Limitedとの間で、同社が開発を進めてきた尋常性ざ瘡治療薬（NAC-GED-0507）の日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結

当社の親会社である日本たばこ産業(株)（うち医薬事業部門）とは、医薬品に関する製品及びサービスにおいて、各々の強みを生かし、当社は主に製造と販売の機能を担っており、親会社は研究開発の機能を担っております。なお、親会社の研究開発の状況は、日本たばこ産業(株)ウェブサイト上の「医療用医薬品臨床開発状況」をご参照ください。

<https://www.jti.co.jp/investors/library/business/briefing/index.html>

Ⅲ 2023年12月期 業績予想

2023年12月期 業績予想については、前回発表（2023年7月31日「2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

※ 研究開発費は、中長期的な成長に向けた積極的な事業投資により大きく変動するため、中期経営計画の利益面における指標は、研究開発費を控除する前の営業利益を計数指標としております。

① 損益計算書

(単位:百万円)	2023年12月期 前予想	2023年12月期 修正予想	修正額	2022年12月期 実績	増減額	増減率 (%)
	A	B	B-A	C	B-C	(B-C)/C
売上高	52,700	54,000	1,300	48,896	5,103	10.4
製商品売上高	52,400	53,700	1,300	48,563	5,136	10.6
腎・透析領域	11,170	11,970	800	12,013	△43	△0.4
皮膚疾患領域	13,540	13,980	440	12,391	1,588	12.8
アレルギー領域	21,500	21,440	△60	18,499	2,940	15.9
その他	6,190	6,310	120	5,658	651	11.5
その他の売上高	300	300	-	332	△32	△9.9
売上原価	28,300	29,300	1,000	25,516	3,783	14.8
売上総利益	24,400	24,700	300	23,379	1,320	5.6
販売費及び一般管理費	20,300	20,200	△100	17,839	2,360	13.2
販管費（研究開発費除く）	16,770	16,600	△170	16,177	422	2.6
研究開発費	3,530	3,600	70	1,661	1,938	116.7
営業利益	4,100	4,500	400	5,540	△1,040	△18.8
研究開発費控除前営業利益	7,630	8,100	470	7,201	898	12.5
経常利益	4,400	4,700	300	5,537	△837	△15.1
当期純利益	3,100	3,400	300	3,944	△544	△13.8

(参考) 売上高に対する比率

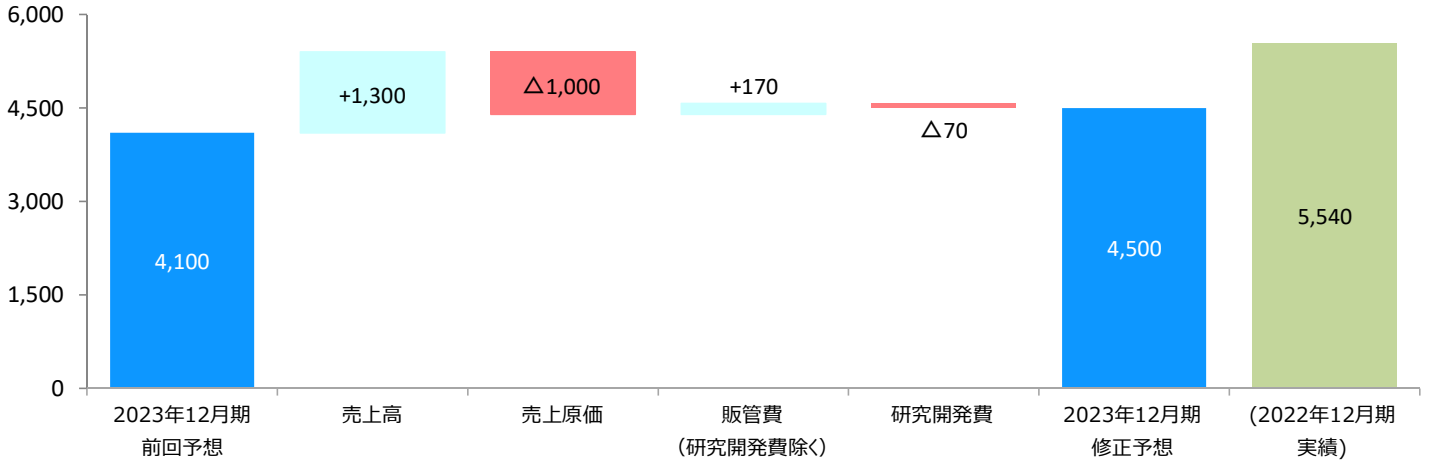
(単位:%)	2023年12月期 前予想	2023年12月期 修正予想	増減	2022年12月期 実績	増減
	A	B	B-A	C	B-C
売上原価	53.7	54.3	0.6	52.2	2.1
販売費及び一般管理費	38.5	37.4	△1.1	36.5	0.9
研究開発費	6.7	6.7	0.0	3.4	3.3
営業利益	7.8	8.3	0.5	11.3	△3.0
研究開発費控除前営業利益	14.5	15.0	0.5	14.7	0.3
経常利益	8.3	8.7	0.4	11.3	△2.6
当期純利益	5.9	6.3	0.4	8.1	△1.8

【2023年12月期 対前回予想増減要因】

営業利益（4,500百万円 対前回予想+400百万円）

✓ 売上原価増加も、リオナ及びアンテバートの売上が前回予想を上回っていることから上方修正

(単位:百万円)



主な増減要因 (億円未満切捨て)

売上高	腎・透析領域	: 増収+ 8億円	リオナ+6億円 (販売数量の増)
	皮膚疾患領域	: 増収+ 4億円	アンテベート+4億円 (販売数量の増)
	アレルギー領域	: 減収△ 0億円	
	その他	: 増収+ 1億円	ビオスリー+1億円 (販売数量の増)
売上原価		: 販売数量の増加 為替影響による増加 仕入単価の上昇	
販管費 (研究開発費除く)		: 販売促進費の減少	

経常利益（4,700百万円 対前回予想+300百万円）

営業外費用：円安進行による仕入債務等に係る為替差損増加 +125百万円

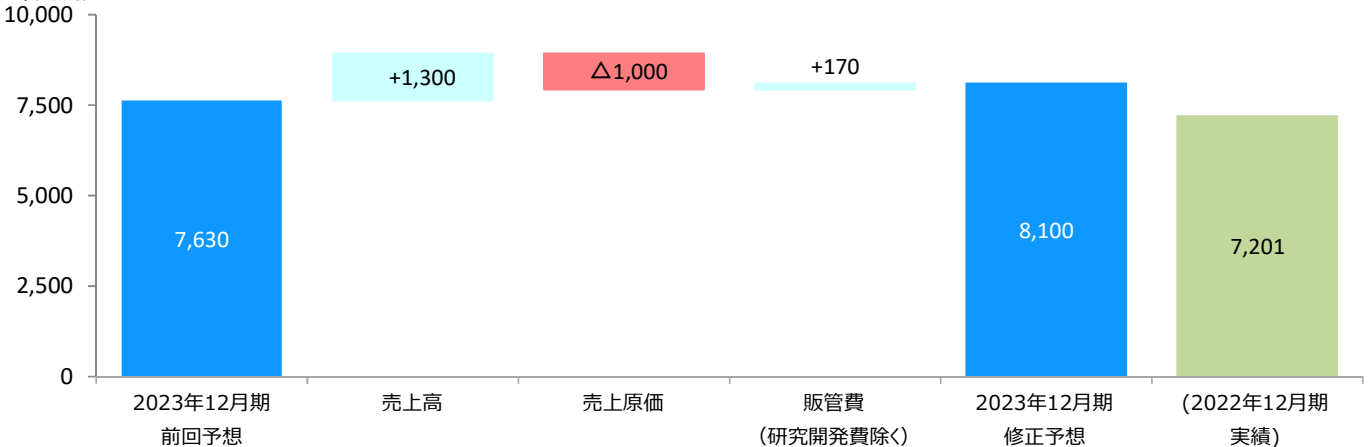
当期純利益（3,400百万円 対前回予想+300百万円）

特記事項：特になし

【参考】

研究開発費控除前営業利益（8,100百万円 対前回予想+470百万円）

(単位:百万円)



② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2023年12月期 前回予想	2023年12月期 修正予想	修正額	2022年12月期 実績	増減額	増減率 (%)
	A	B	B-A	C	B-C	(B-C)/C
製商品売上高	52,400	53,700	1,300	48,563	5,136	10.6
[腎・透析領域]						
リオナ錠	6,920	7,610	690	6,939	670	9.7
高リン血症治療剤、鉄欠乏性貧血治療剤						
レミッチ	2,670	2,730	60	3,536	△806	△22.8
経口そう痒症改善剤						
ケイキサレート ※	1,040	1,050	10	1,230	△180	△14.7
高カルウム血症改善剤						
その他	540	580	40	306	273	89.3
計	11,170	11,970	800	12,013	△43	△0.4
[皮膚疾患領域]						
コレクチム軟膏	7,160	7,230	70	5,469	1,760	32.2
外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤						
アンテベート ※	3,940	4,370	430	3,995	374	9.4
外用副腎皮質ホルモン剤						
ロコイド ※	1,400	1,420	20	1,476	△56	△3.8
外用副腎皮質ホルモン剤						
ゼフナート	1,040	960	△80	1,091	△131	△12.1
抗真菌薬						
その他	-	-	-	358	△358	△100.0
計	13,540	13,980	440	12,391	1,588	12.8
[アレルギー領域]						
シダキア スギ花粉舌下錠 ※	11,230	11,170	△60	9,608	1,561	16.3
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬						
ミティキュア ダニ舌下錠 ※	10,070	10,090	20	8,694	1,395	16.0
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬						
その他	200	180	△20	196	△16	△8.6
計	21,500	21,440	△60	18,499	2,940	15.9
[その他]						
ビオスリー	3,800	3,900	100	3,361	538	16.0
活性生菌製剤(整腸剤)						
オラデオカプセル	1,500	1,500	-	1,313	186	14.2
血漿カリクレイン阻害剤						
その他	890	910	20	983	△73	△7.5
計	6,190	6,310	120	5,658	651	11.5

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2023年12月期 前回予想	2023年12月期 修正予想	修正額(率)	2022年12月期 実績	増減	増減率 (%)
	A	B	B-A	C	B-C	(B-C)/C
自社品売上高	28,600	29,000	400	25,933	3,066	11.8
自社品比率 (%)	54.6	54.0	△0.6	53.4	0.6	-